

看護教育 第23巻 総目次

1982年1-13号

(分類は第13巻 第5号‘特集・文献集録’に準じ、表示は題名：筆者名、号数、ページ数を表す)

教育原論

- 教育人間学の探求[1] プロローグ：伊藤順康，1，55-59.
教育人間学の探求[2] ‘学ぶ’とは何か：伊藤順康，2，120-124.
教育人間学の探求[3] 教育内容の変貌と学びの喪失：伊藤順康，3，184-188.
教育人間学の探求[4] 子供の心と体：伊藤順康，4，250-254.
教育人間学の探求[5] 自我の解体と自己形成：伊藤順康，5，323-327.
教育人間学の探求[6] 授業論 その1：伊藤順康，6，389-392.
教育人間学の探求[7] 授業論 その2：伊藤順康，7，456-459.
教育人間学の探求[8] 授業論 その3：伊藤順康，8，524-528.
教育人間学の探求[9] 授業論 その4：伊藤順康，9，584-588.
教育人間学の探求[10] 教師論 その1：伊藤順康，10，646-650.
教育人間学の探求[11] 教師論 その2：伊藤順康，11，713-717.
教育人間学の探求[12] 教師論 その3：伊藤順康，13，843-847.
思春期前期の青年への治療的接近 不登校症例を通して：澤田愛子，13，832-839.

看護教育原論

- CROSSROADS 看護教育に思う：鈴木幸子，1，70.
NURSING EYE 人を育てる：下田幸子，2，75-78.
NURSING EYE 看護教育に人間関係の講座を！：伊藤幸子，3，139-142.
NURSING EYE これからの看護教育の課題：長浦レイコ，6，347-350.

看護書からみた近代看護教育 明治10年“看護心得”から第2次世界大戦終了まで：鶴沢陽子・ほか，9，544-554.

NURSING EYE 地域病院と看護婦教育：原田高子，10，603-606.

特集 課外教育と学生の成長 現代の学生気質に応じた看護教育の改善：持永静代，13，805-811.

看護教育制度

特集 卒後教育 1. 現在の看護学校教育の問題点と卒後教育の方向：松葉卓郎，4，207-209.

看護学論

- 看護学基礎理論への一考察：長吉孝子，3，172-176.
看護学教育を考える・1 看護学部創設に際して：石川稔生，7，454-455.
看護学教育を考える・2 大学における教育と研究：石川稔生，8，522-523.
看護学教育を考える・3 看護と看護学：石川稔生，9，582-583.

カリキュラム論

NEWS REPORT ゆとりある看護教育カリキュラムをめざして 国立大学医療技術短期大学部看護学科第1回新カリキュラム研究委員会開かる：本誌編集部，11，699-707.

看護大学

- 看護学教育を考える・1 看護学部創設に際して：石川稔生，7，454-455.
看護学教育を考える・2 大学における教育と研究：石川稔生，8，522-523.
看護学教育を考える・3 看護と看護学：石川稔生，9，582-583.
看護学教育を考える・4 英米の看護学教育の現状[1]：石川稔生，10，644-645.

看護学教育を考える・5 英米の看護学教育の現状[2]:
石川稔生, 11, 710-711.
看護学教育を考える・6 英米の看護学教育の現状[3]:
石川稔生, 13, 840-841.

短期大学

特集 卒後教育 III. 全国国立大学医療技術短期大学部
看護学科3年生の進路希望の実態:新潟大学・群馬
大学・信州大学・筑波大学医療技術短期大学部看護
学科, 4, 238-244.
NURSING EYE これからの看護教育の課題:長浦レ
イコ, 6, 347-350.

レギュラー・コース

NURSING EYE 地域病院と看護婦教育:原田高子,
10, 603-606.

進学コース・高校衛生看護科専攻科

CROSSROADS ‘時間’‘時間’:反町耀子, 1, 70-71.
NURSING EYE 研究する姿勢の育て方:横山トヨミ,
7, 411-414.

准看護婦学校・高校衛生看護科

静岡県高等学校衛生看護科の現状と展望:高木民子・
ほか, 3, 157-162.
CROSSROADS カードによる学習をとり入れて:野
上恭子, 11, 727.

助産婦学校・教育

特集 看護教育とシミュレーション II. シミュレーシ
ョン教育の実際 ‘前期破水産婦の看護過程’の学習
プログラム:田代順子, 1, 50-54.

外国の看護教育

看護学教育を考える・4 英米の看護学教育の現状[1]:
石川稔生, 10, 644-645.
看護学教育を考える・5 英米の看護学教育の現状[2]:
石川稔生, 11, 710-711.
NURSING EYE アメリカ合衆国の看護事情メン
ターシップと看護指導者:今井敬子, 13, 795-798.
特集 課外教育と学生の成長 シアトル・パシフィック
大学への夏季研修で学んだこと:佐々木裕子・ほか,
13, 817-823.
看護学教育を考える・6 英米の看護学教育の現状[3]:
石川稔生, 13, 840-841.

教育技法・授業

特集 看護教育とシミュレーション I. 教育へのシ
ミュレーションの導入 教育工学の歴史と現状:中山
和彦, 1, 8-13.
特集(同上) I. 教育へのシミュレーションの導入 シ
ミュレーションとは何か[1]:赤塚孝雄: 1, 14-

19.

特集(同上) I. 教育へのシミュレーションの導入 座
談会 医学・看護領域へのシミュレーションの導入:
高橋美智・ほか, 1, 20-33.

特集(同上) II. シミュレーション教育の実際 医学教
育分野でのシミュレータ 心臓病患者シミュレータ;
Harvey 蘇生訓練用患者ロボット(RESIM):道場
信孝, 1, 34-37.

特集(同上) II. シミュレーション教育の実際 患者シ
ミュレーションを用いた看護CAI学習プログラ
ムの開発:田村やよひ, 1, 38-42.

特集(同上) II. シミュレーション教育の実際 ‘脳出
血による意識障害患者の看護’の学習プログラム:
田村やよひ, 1, 43-49.

特集(同上) II. シミュレーション教育の実際 ‘前期
破水産婦の看護過程’の学習プログラム:田代順子,
1, 50-54.

シミュレーションとは何か[2]:赤塚孝雄, 2, 83-89.
看護学生が日常生活のなかで学び得ること:矢本美子,
3, 177-180.

教育ルポ 聖隷学園浜松衛生短期大学<岡村ゼミ>見学記
‘21世紀に生きる人々へのケア’を目指す学習:本誌
編集部, 3, 182-183.

教育人間学の探求[6] 授業論 その1:伊藤順康, 6,
389-392.

教育人間学の探求[7] 授業論 その2:伊藤順康, 7,
456-459.

小特集 教授フローチャートによる授業設計:沼野一男,
8, 479-484.

小特集(同上) 教授フローチャートによる授業案 ‘正
常呼吸の特徴と呼吸の観察ポイント’を素材として:
吉田喜久代, 8, 485-498.

教育人間学の探求[8] 授業論 その3:伊藤順康, 8,
524-528.

教育人間学の探求[9] 授業論 その4:伊藤順康, 9,
584-588.

CROSSROADS カードによる学習をとり入れて:野
上恭子, 11, 727.

CROSSROADS 学生を知ることの大切さ:鈴木良子,
13, 856.

看護総論

対象の全体像への接近のために[1]:川島みどり, 2,
79-82.

看護婦の独自の機能と専門性を考える:中村博子, 2,
112-116.

CROSSROADS 本当の自分を表現する技術:渡辺美
千代, 2, 134-136.

対象の全体像への接近のために[2]:川島みどり, 3,
143-146.

看護学総論における教育計画案 看護技術のユニット
‘栄養と食事’について:関東地区国立大学医学部付

属看護学校教官連絡協議会合同研究, **3**, 163-171.
 CROSSROADS ‘看護における倫理’のシンポジウム
 を聴いて：井部俊子, **3**, 198-199.
 対象の全体像への接近のために[3]：川島みどり, **4**,
 247-249.
 NURSING EYE 看護婦の<手>と<目>：西浦キヌエ,
5, 267-269.
 1980年代の医療と看護のかかわりあい：日野原重明, **5**,
 310-318.
 対象の全体像への接近のために[4]：川島みどり, **5**,
 319-322.
 CROSSROADS 看護の原点とは：荒井博子, **5**, 343.
 CROSSROADS 生きがいについて：池内知津子, **5**, 343.
 対象の全体像への接近のために[5]：川島みどり, **6**,
 375-378.
 対談 ホスピスを考える ホスピス活動の流れをどう受
 けとめるか その1：岡村昭彦・季羽倭文子, **6**,
 351-373.
 対談 ホスピスを考える ホスピス活動の流れをどう受
 けとめるか その2：岡村昭彦・季羽倭文子, **7**,
 415-429.
 小特集 教授フローチャート 教授フローチャートによ
 る授業案 ‘正常呼吸の特徴と呼吸の観察ポイント’
 を素材として：吉田喜久代, **8**, 485-498.
 反省期を迎えた世界のホスピス運動 現代ホスピスのバ
 ックグラウンドを知るために・1：岡村昭彦, **8**,
 499-505.
 看護教育における患者の死に関する研究：遠矢福子, **8**,
 506-511.
 セント・クリストファー・ホスピスの<ルーツ>をめぐっ
 て 現代ホスピスのバックグラウンドを知るために・
 2：岡村昭彦, **9**, 576-581.
 特集 看護過程をどう教えるか 基礎教育課程における
 看護過程の位置づけと学習の展開：藤村龍子・ほか,
10, 608-620.
 特集(同上) 看護過程を学生にどう学ばせるか：小池妙
 子, **10**, 621-627.
 特集(同上) 看護過程の学習を基礎教育のどこに位置づ
 け実施しているか：石山良子, **10**, 628-636.
 イースト・サイドを歩いてみましょう 現代ホスピスの
 バックグラウンドを知るために・3：岡村昭彦, **10**,
 637-643.
 小特集 F. ナイチンゲール評価の明と暗 フェミニスト
 の先駆者としてのフローレンス・ナイチンゲール：
 Frances T. Smith, 杉山喜代子訳, **11**, 671-676.
 小特集(同上) フローレンス・ナイチンゲールの再評価
 F.B.スミス著“フローレンス・ナイチンゲール 名声
 と権力”の書評：Richard Shannon, 名古屋看護研
 究会訳, **11**, 677-685.
 19世紀のダブリンからの報告 現代ホスピスのバックグ
 ラウンドを知るために・4(最終回)：岡村昭彦, **11**,
 687-692.

看護歴史

大正看護史[1] 大正看護の前身 明治から大正へ：渡
 部喜美子, **1**, 60-66.
 大正看護史[2] 看護婦規則をめぐって：渡辺喜美子,
2, 125-130.
 大正看護史[3] 病院における看護 その1：渡部喜美
 子, **3**, 189-194.
 大正看護史[4] 病院における看護 その2：渡部喜美
 子, **4**, 255-260.
 大正看護史[5] 個人史からみた派出看護：渡部喜美子,
5, 329-335.
 大正看護史[6] 日赤の救護看護と社会看護活動 その
 1：渡部喜美子, **6**, 394-399.
 大正看護史[7] 日赤の救護看護と社会看護活動 その
 2：渡辺喜美子, **7**, 461-466.
 大正看護史[8] 公衆衛生看護と学校看護 その1：渡
 部喜美子, **8**, 529-534.
 看護歴史との出会い リンダ・リチャーズのことなど：
 徳川早知子, **9**, 539-543.
 看護書からみた近代看護教育 明治10年“看護心得”から
 第2次世界大戦終了まで：鶴沢陽子・ほか, **9**, 544-
 554.
 大正看護史[9] 公衆衛生看護と学校看護 その2：渡
 部喜美子, **9**, 589-594.
 大正看護史[10] マスコミに現れた看護婦像 その1：
 渡部喜美子, **10**, 653-658.
 大正看護史[11] マスコミに現れた看護婦像 その2：
 渡部喜美子, **11**, 718-723.
 大正看護史[12] 大正から昭和へ：渡部喜美子, **13**, 848-
 853.

情報科学

特集 情報科学教育 看護とコンピュータ 座談会 コ
 ンピュータは怖くない[1]：和田孝雄・ほか, **5**,
 271-289.
 特集(同上) 看護業務とコンピュータ 臨床におけるコ
 ンピュータの現状：藤田康代, **5**, 291-294.
 特集(同上) PL 学園衛生看護専門学校における情報科
 学教育：大端富美子・ほか, **5**, 295-299.
 特集(同上) 病棟情報システムの現状と将来：小森優,
5, 300-306.
 特集(同上) グラフ 京都大学医学部付属病院でのコン
 ピュータ導入：**5**, 307-309.
 座談会 コンピュータは怖くない[2]：和田孝雄・ほか,
6, 379-388.
 特集 POS 実践の新たな展開 外来透析室におけるPOS
 記録とコンピュータ利用：古山智也子・ほか, **12**, 732-
 736.
 特集(同上) POS でのマイコン利用の問題点：和田孝雄・
 ほか, **12**, 739-762.

看護研究

NURSING EYE 研究する姿勢の育て方：横山トヨミ，
7，411-414.

成人看護学

- 特集 看護教育とシミュレーション II. シミュレーション教育の実際 ‘脳出血による意識障害患者の看護’の学習プログラム：田村やよひ，1，43-49.
対象の全体像への接近のために[3]：川島みどり，4，247-249.
対象の全体像への接近のために[4]：川島みどり，5，319-322.
対談 ホスピスを考える ホスピス活動の流れをどう受けとめるか その1：岡村昭彦・季羽倭文子，6，351-373.
対談 ホスピスを考える ホスピス活動の流れをどう受けとめるか その2：岡村昭彦・季羽倭文子，7，415-429.
反省期を迎えた世界のホスピス運動 現代ホスピスのバックグラウンドを知るために・1：岡村昭彦，8，499-505.
教育実践レポート 成人看護学実習に交流分析を取り入れて 実習における学生・患者用の効果的な人間関係をめざして：佐伯恵子・ほか，9，555-561.
セント・クリストファー・ホスピスの〈ルーツ〉をめぐって 現代ホスピスのバックグラウンドを知るために・2：岡村昭彦，9，576-581.
イースト・サイドを歩いてみましょう 現代ホスピスのバックグラウンドを知るために・3：岡村昭彦，10，637-643.
19世紀のダブリンからの報告 現代ホスピスのバックグラウンドを知るために・4（最終回）：岡村昭彦，11，687-692.
特集 POS 実践の新たな展開 臨床看護学実習へのPOS導入・1 〈看護過程〉を重視した受け持ち患者記録の作成：滋賀県立総合保健専門学校看護第2科・ほか，12，769-775.
特集(同上) 臨床看護学実習へのPOS導入・2 成人看護学内科実習にPOS受け持ち患者記録を使用して：滋賀県立短期大学看護学科・ほか，12，777-779.

母性看護学

- 特集 看護教育とシミュレーション II. シミュレーション教育の実際 ‘前期破水産婦の看護過程’の学習プログラム：田代順子，1，50-54.
看護学生が日常生活のなかで学び得ること：矢本美子，3，177-180.

小児看護学

NURSING EYE ‘子供’を知る教育：高野陽，4，203-206.

- 教育人間学の探求[4] 子供の心と体：伊藤順康，4，250-254.
CROSSROADS 小児看護実習指導を顧みて：石川恵美子，9，599.

臨床実習

- NURSING EYE 臨床実習指導への姿勢：山口瑞穂子，1，3-6.
対象の全体像への接近のために[1]：川島みどり，2，79-82.
学生複数対患者複数受け持ち方式による看護実習についての一考察：宮城県総合衛生学院臨床看護学科，2，104-111.
対象の全体像への接近のために[2]：川島みどり，3，143-146.
CROSSROADS 1年生の‘日常生活援助’の実習からの反省：阿神田節子，3，199-200.
対象の全体像への接近のために[3]：川島みどり，4，247-249.
CROSSROADS 臨床実習指導の新たな試み：鈴木真知子，4，263-264.
CROSSROADS 事例研究の指導を通して思うこと：遠藤光江，7，471.
教育実践レポート 成人看護学実習に交流分析を取り入れて 実習における学生・患者間の効果的な人間関係をめざして：佐伯恵子・ほか，9，555-561.
教育実践レポート 基礎看護実習に伴う不安に関する一考察：山下タケ子，9，562-567.
教育実践レポート 臨床実習場面での学生とのかかわり 成人看護学脳神経外科領域における指導例：瀬山和世・ほか，9，568-574.
CROSSROADS 小児看護実習指導を顧みて：石川恵美子，9，599.
CROSSROADS ナースコールについて思うこと：入江水浪，9，599-600.
特集 看護過程をどう教えるか 基礎教育課程における看護過程の位置づけと学習の展開：藤村龍子・ほか，10，608-620.
特集(同上) 看護過程を学生にどう学ばせるか：小池妙子，10，621-627.
特集(同上) 看護過程の学習を基礎教育のどこに位置づけ実施しているか：石山良子，10，628-636.
CROSSROADS コミュニケーションを考え直すきっかけになった、ある〈実習〉：中村真祐美，10，663-664.
特集 POS 実践の新たな展開 特集にあたって：岡安大仁，12，729.
特集(同上) 外来透析室におけるPOS記録とコンピュータ利用：古山智也子・ほか，12，732-736.
特集(同上) POSでのマイコン利用の問題点：和田孝雄，12，739-762.
特集(同上) リハビリテーションセンターにおけるPOS利用の経験：村上信，12，763-766.

特集(同上) 臨床看護学実習へのPOS導入・1 〈看護過程〉を重視した受け持ち患者記録の作成：滋賀県立総合保健専門学校看護第2科・ほか, 12, 769-775.
特集(同上) 臨床看護学実習へのPOS導入・2 成人看護学内科実習にPOS受け持ち患者記録を使用して：滋賀県立短期大学看護学科・ほか, 12, 777-779.
特集(同上) プロブレムリスト・データベース：篠田知璋, 12, 781-782.
特集(同上) フローシート・ディスチャージサマリー：森忠三, 12, 786-787.
特集(同上) POSの初歩的解説：岩崎栄, 12, 788-789.
特集(同上) POS実践の新たな展開：細田四郎, 12, 791-792.
CROSSROADS 学生を知ることの大切さ：鈴木良子, 13, 856.

保健所実習

看護教育活動の見直し 慶応義塾大学医学部付属厚生女子学院における保健所実習を素材として：大本ゆみ子・ほか, 7, 430-444.

教務・教員・教員研修など

CROSSROADS 看護問題研究会へのおきそい：伊須田栄子, 1, 71.
CROSSROADS 文部省看護教員講習会の印象記：高木敏江, 2, 134.
NURSING EYE これからの看護教育の課題：長浦レイコ, 6, 347-350.
CROSSROADS 学生にとってよい教師とは：藤野文代, 6, 406.
CROSSROADS 教師として、人間として：佐藤アエ, 6, 406-407.
NURSING EYE 岡山県看護教員養成講習会の5年間を振り返って：二宮一枝, 8, 475-478.
教育人間学の探求[10] 教師論 その1：伊藤順康, 10, 646-650.
CROSSROADS 教師1年目の戸惑いと希望：豊田省子, 10, 662.
NURSING EYE 看護教師の成長とは：田代順子, 11, 667-670.
教育人間学の探求[11] 教師論 その2：伊藤順康, 13, 843-847.
CROSSROADS 研修で学んだこと：三田恵子, 13, 857.

入学試験・成績など

看護学生の内申・入試・卒業成績の相関性[1] 奈良県立医科大学付属看護専門学校第一部課程における4年間の内申・入試成績の相関：中尾圭一・ほか, 2, 97-103.
看護学生の内申・入試・卒業成績の相関性[2] 奈良県立医科大学付属看護専門学校第一部課程における4年間の学科・実習成績の相関：中尾圭一・ほか, 3,

147-155.

学生生活と指導・課外教育

看護教育と学生寮 教育荒廃の叫ばれるなか：黒川肇, 2, 91-96.
CROSSROADS 〈待つ〉ということ：松坂真砂子, 7, 470-471.
特集 課外教育と学生の成長 課外教育の意味するもの：久保成子, 13, 800-804.
特集(同上) 現代の学生気質に応じた看護教育の改善：持永静代, 13, 805-811.
特集(同上) 読書会による〈気づき〉の体験学習：持永静代, 13, 812-816.
特集(同上) シアトル・パシフィック大学への夏期研修で学んだこと：佐々木裕子・ほか, 13, 817-823.
特集(同上) 准看護婦科・看護婦科合同の学院祭の歩み：古賀八千代, 13, 824-831.

学生意識・進路希望

特集 卒後教育 III. 全国国立大学医療技術短期大学部看護学科3年生の進路希望の実態：新潟大学・群馬大学・信州大学・筑波大学医療技術短期大学部看護学科, 4, 238-244.
看護婦イメージの研究：石塚百合子, 7, 446-453.
看護教育における患者の死に関する研究：遠矢福子, 8, 506-511.
看護学生の学習および看護職に対する態度の発達の変化：波多野梗子・ほか, 8, 513-520.

卒後教育

特集 卒後教育 I. 現在の看護学校教育の問題点と卒後教育の方法：松葉卓郎, 4, 207-209.
特集(同上) II. 看護における卒後教育の現状 調査報告に当たって：原萃子, 4, 210.
特集(同上) II. 看護における卒後教育の現状 我が国における卒後教育の現状：群馬大学医療技術短期大学部看護学科, 4, 211-215.
特集(同上) II. 看護における卒後教育の現状 日本看護協会主催による卒後教育の現状：信州大学医療技術短期大学部看護学科, 4, 216-222.
特集(同上) II. 看護における卒後教育の現状 地方医務局および地方自治体主催の卒後教育の現状：新潟大学医療技術短期大学部看護学科, 4, 234-236.
特集(同上) II. 看護における卒後教育の現状 調査報告を終わって：原萃子, 4, 237.
特集(同上) III. 全国国立大学医療技術短期大学部看護学科3年生の進路希望の実態：新潟大学医療技術短期大学部看護学科・ほか, 4, 238-244.
CROSSROADS 心に残った本“人生にリハーサルはない”：城正子, 4, 263.
継続教育の再検討：中村博子, 11, 693-696.
CROSSROADS 卒後教育を考える, 藤田春枝, 11, 726-727.

教員の人物像(ZOOM UP)

戦後の看護教育の道をひらく 細貝怜子先生：1, 1.
雪国に根を下ろし看護教育に情熱を注ぐ 原萃子先生：2, 73.
よい師にめぐりあえるのは幸せなことですね 小中恵子先生：3, 137.
教師はもっと勉強の大切さを知ってほしい 大河原千鶴子先生：4, 201.
呆け老人に取り組む中で‘看護’が見えてきました 中島紀恵子先生：5, 265.
教師はもっと看護の実践能力を高めていかなければ 高橋令子先生：6, 345.
教師には知識を生かす知恵が必要ですね 斉藤育子先生：7, 409.
カリキュラム以外のことを教えるのも大切です 柴田宏子先生：8, 473.
‘3年間頑張る’という姿勢が能力を高めていきますね 石原幸子先生：9, 537.
看護教育はもっとゆとりのあるものにしたいですね 生田俊子先生：10, 601.
短大に移行しても課題は多いですね 正田美智子先生：11, 665.
どんな状況にも対応できる看護婦を養成したいですね 水口静江先生：13, 793.

TOPICS,NEWS

四大学看護学研究会‘日本看護研究学会’として再発足：1, 69.
国民9.1人に1人が有病者 昭和55年度国民調査結果から：2, 112.
第1回日本看護科学学会開かる 看護教育研究をめぐりシンポジウム：2, 118-119.
看護過程の教育をテーマに 臨床実習指導者研修会開かる(長崎・東京)：3, 195.
第8回日本看護研究学会開催迫る 5月9日千葉大学看護学部で：4, 246.
第14回聖路加看護大学公開講座開かる ‘役割理論の看護実践・教育・管理への応用’をテーマに2氏が講演：5, 336-337.
看護教員の定着を考える座談会開かる 岡山県の看護教員養成講習会終了者を対象に：6, 400-401.
淀川キリスト教病院ホスピス設立へ 発起人会が全国に募金を呼びかけ：6, 402.
看護実践研究指導センターが発足 千葉大学看護学部全国共同利用施設として：7, 467.
第2回日本看護科学学会日程決まる：8, 520.
国民医療費12兆円に(昭和55年度)：9, 588.
第4回看護歴史教育セミナー開かる ‘准看護婦問題’‘戦争と看護’をテーマに：9, 595.
第13回日本看護学会教育分科会開かる ‘看護の自主性を高める教育’をテーマに：11, 708-709.

第37回国立病院療養所総合医学会より 短期大学化の流れの中での展望を討論：13, 854.

BOOKS

近代看護の先駆者の一生を描いた出色の伝記 セシル・ウーダム=スミス著 武山満智子・小南吉彦訳“フロレンス・ナイチンゲールの生涯”：内尾貞子, 1, 69.
転落の道をたどった少女の心の克明な記録 クリスチアーネ・F著 小林さとる訳“ある非行少女の告白——かなしみのクリスチアーネ”：佐藤光代, 2, 132-133.
〈人間として豊かになること〉の大切さ 久保成子著“看護実践の哲学を求めて”：武藤誠, 3, 196.
男性の性をイラストで理解する本 ダイアグラム・グループ編 池上千寿子・根岸悦子訳“マンズ・ボディ”：河野友信, 3, 197.
精神疾患をやさしく解説した〈読み〉かつ〈見る〉学習書 高橋三郎・中村道彦著“440のプログラム教程——精神疾患へのアプローチ”：加藤政子, 4, 261-262.
国民保健サービスが誕生するまでの歴史 B.エイベル=スミス著 多田羅浩三・大和田建太郎訳“英国の病院と医療”：藤村正哲, 5, 340.
日常の出来事を温かい目でとらえる 五十嵐嶺著“人間の心 教育の心”：本誌・野崎弘幸, 5, 341.
看護婦の苦悩にひとつの指針を与えてくれる書 中島美知子・白井幸子著“死と闘う人々に学ぶ——交流分析を用いての試み”：久保成子, 6, 404.
生活の場で患者とのかかわった地方勤務医の記録 徳永進著“死の中の笑み”：山中恵美子, 6, 405.
わかりやすく説得力のある文章を書く方法 木下是雄著“理科系の作文技術”：桑野タイ子, 7, 468-469.
看護教育制度の現状を多角的に分析 杉森みど里著“看護教育の実践的展開——ある看護婦教師のあゆみ”：内尾貞子, 8, 535.
個性的で人間味豊かな2人の英国看護婦の伝記 高見安規子著“歴史のなかの看護婦——イーディス・キャベルとシスター・ドーラの生涯”：金井一薫, 9, 596.
見知らぬ状況に置かれた子供の理解 W.M.Easson 著 大阪府立看護短期大学発達研究グループ訳“死にゆく子供——子供は死を理解している”：堀喜久子, 10, 659.
揺れ動く子供たちの心情に注がれる温かいまなざし L.S.Baker 著 細谷亮太訳“君と白血病——この1日を貴重な1日に”：川島みどり, 10, 660.
多くの実践活動の〈見直し〉に活用できる理念の書 丸地信弘編“保健活動〈見直し〉の理論と実際”：大本ゆみ子, 11, 724-725.
急変・悪化事例の分析により要因の〈共有化〉を図る 川島みどり・桑野タイ子編“救命と看護——急変・悪化事例の看護過程”：川口緋沙子, 13, 855.